

令和4年度 浄化槽トップセミナー鳥取

**中山間地域での生活排水処理の取り組み
～ 合併処理浄化槽の活用と公的管理 ～**

兵庫県佐用郡佐用町



佐用町の概要（位置）



平成17年10月

佐用町、上月町、南光町、
三日月町 が合併し

新「佐用町」誕生

岡山県
美作市

兵庫県
宍粟市

○ 佐用町役場
本庁舎・支所

岡山県
備前市

兵庫県
上郡町

兵庫県
たつの市



佐用町の概要（位置・地勢）

兵庫県西部に位置し、西は岡山県に接しており、町南部には、大型放射光施設SPring-8やX線自由電子レーザーSACLAをはじめ、兵庫県立大学などの学術研究機関等が集積する「播磨科学公園都市」がある。地形は、平地の割合は少なく、山林などが多くを占める。

東西・南北の自動車道が交差し鉄道網も、智頭線と、JR姫新線が通っており、自動車で、県庁所在地の神戸市へは約1.5時間、大阪へは約2時間の位置関係にあり、過疎・中山間地域の自治体としては、比較的交通の利便性に恵まれています。

総面積	307.44km ²
人口(R2国勢調査)	15,863人
高齢化率(R2国勢調査)	38.9%
世帯数(R2国勢調査)	5,927世帯



【夏を彩る ひまわり畑】



【西はりま天文台公園】



【国史跡となった利神城跡】



【宿場町平福の川端風景】

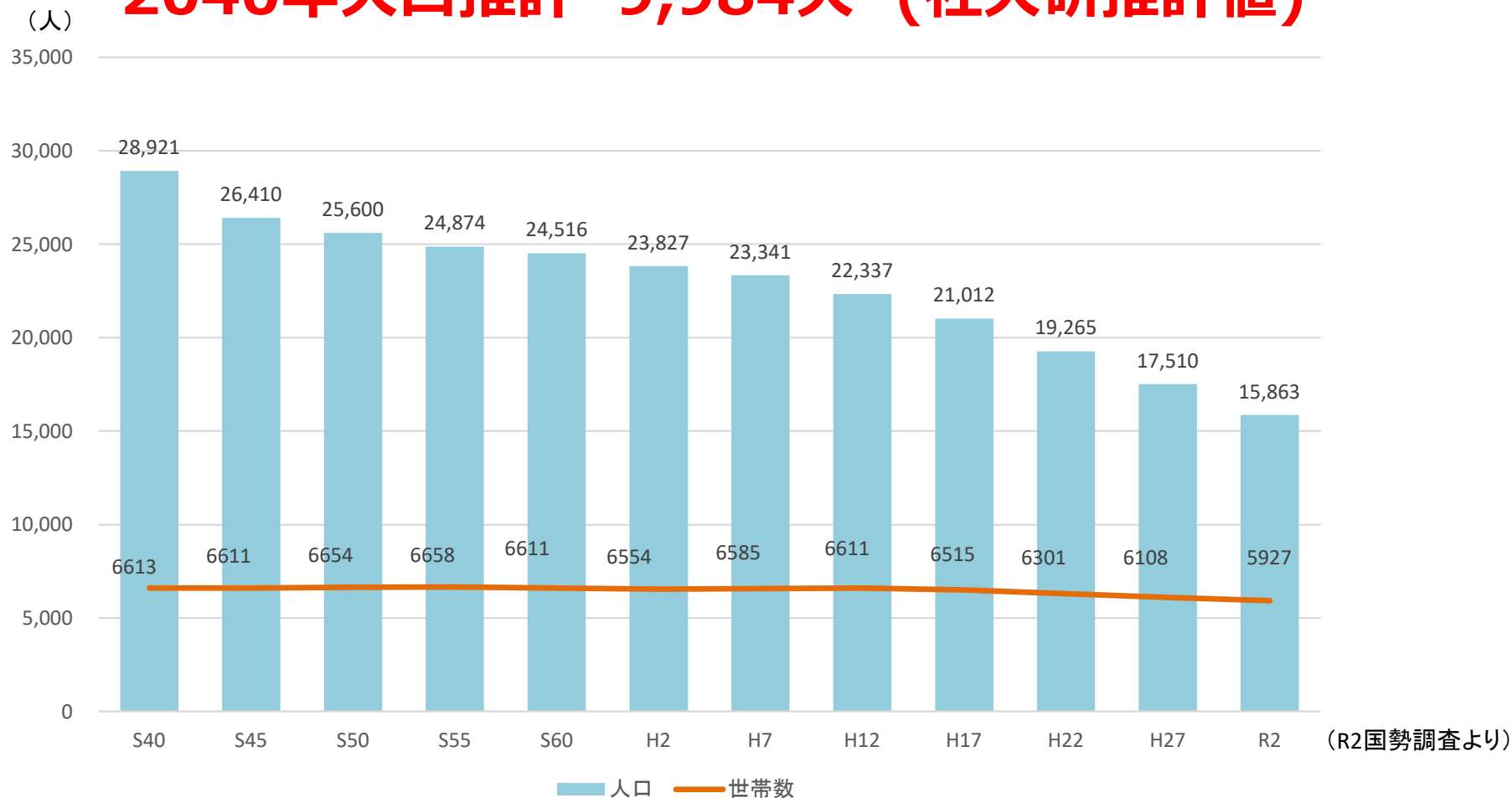


佐用町の概要（人口・世帯数推移）

H27→R2の人口減少率は、県内で最大！

2040年目標、 11,500人（人口ビジョン目標値）

2040年人口推計 9,984人（社人研推計値）



平成21年台風第9号災害

- 平成21年8月9日、台風第9号の影響により、1時間降水量89.0mm、日降水量326.5mmの記録的豪雨
- 死者18名、行方不明者2名、住家被害合計1789棟の大災害が発生
- 全国からのあたたかい支援（義援金・ボランティア支援・物的支援など）を受ける

被害の状況

平成22年1月21日現在

人的被害

死者	18名
行方不明者	2名

住家被害

全壊	139棟	計 1789棟
大規模半壊	269棟	
半壊	483棟	
床上浸水	156棟	
床下浸水	742棟	

避難所及び避難者数

ピーク時 8月10日9:00現在 22箇所 2,219人



3 佐用町の取り組み（メガソーラー発電事業）

- 平成21年台風第9号災害では、山林中に大量の倒木が発生し、流木が川の流れをせき止め浸水被害が拡大。
- 山林の健全な育成を推進し、防災力を高め、循環型環境配慮社会実現への貢献を目的に、メガソーラー施設に国内産木材を活用した、“国内初”の木造建築構造架台を導入
- 大手制御機器メーカーと共同で有限責任事業組合を設立し、施設を建設・運営
- 発電収入は、町独自の子育て支援施策等に充当

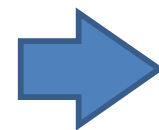


【木製架台】



農業の課題

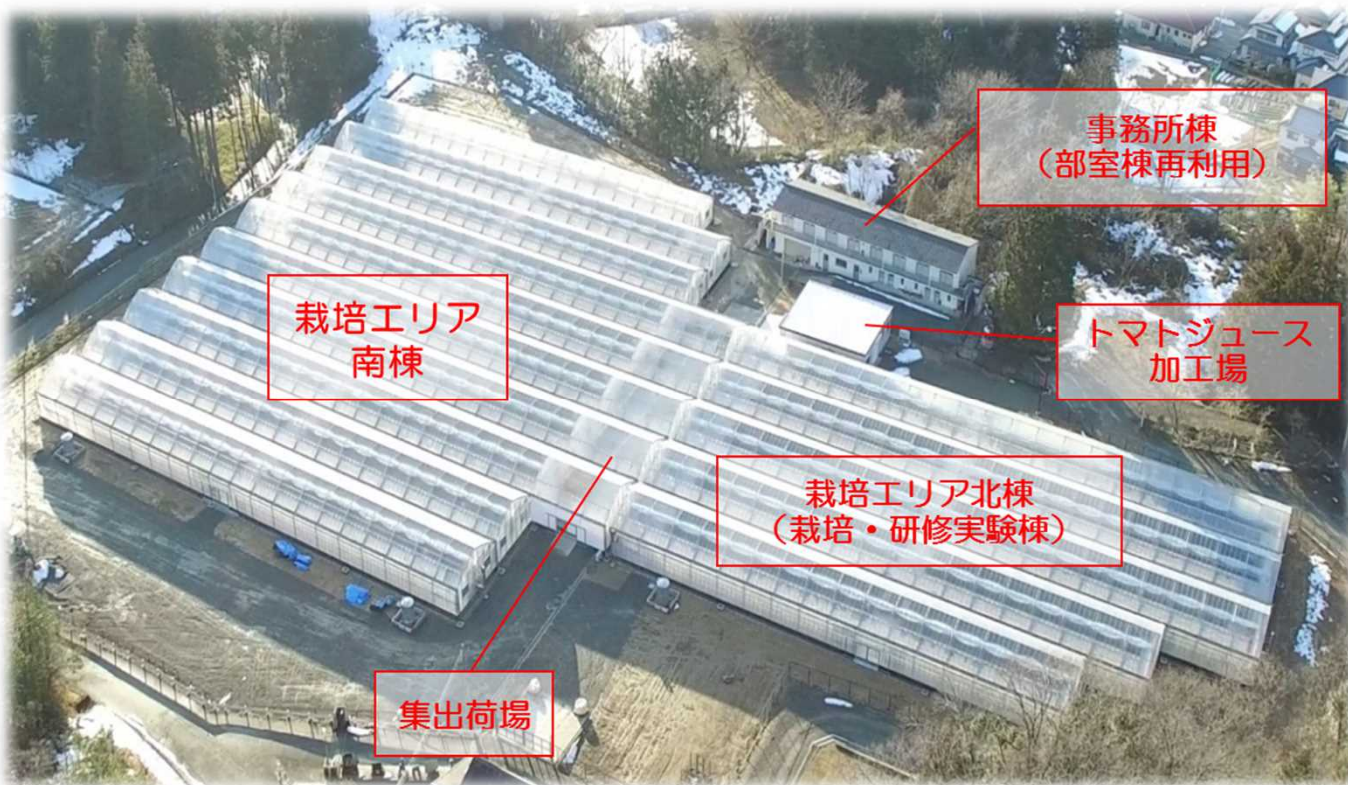
- 米価の継続的な低価格状態 ○有害鳥獣による作物被害
- 農業労働力・従事者数の減少と担い手の高齢化 ○耕作放棄地の拡大
- 土地管理型農業の限界 等



**儲かる農業の
実践が必要**

次世代農業モデルプラント「佐用まなび舎農園」を建設・運営

- 大手制御機器メーカーと共同で出資した有限責任事業組合（LLP）で建設・運営
- 中学校跡地に建設。佐用高校農業科学科生徒の研修・実習等、人材育成にも活用
- ウルトラファインバブル水や環境制御等の最先端技術と、佐用町の豊かな自然環境を組み合わせ、ブランドトマト「夢茜」・「夢茜ストレートトマトジュース」を製造・販売



佐用まなび舎農園

Sayo Manabiya Nōen



佐用まなび舎農園

Sayo Manabiya Nōen

Fine's+Farm

ファインズファーム
佐用・IDEC有限責任事業組合



1991年(H3)

「生活排水対策99%大作戦」スタート

上水道の普及率である99%を目標
2001年(H13)までの普及を目指した。

令和4年の生活排水処理率は 96.6%

(R4集計結果より)



【集合方式】

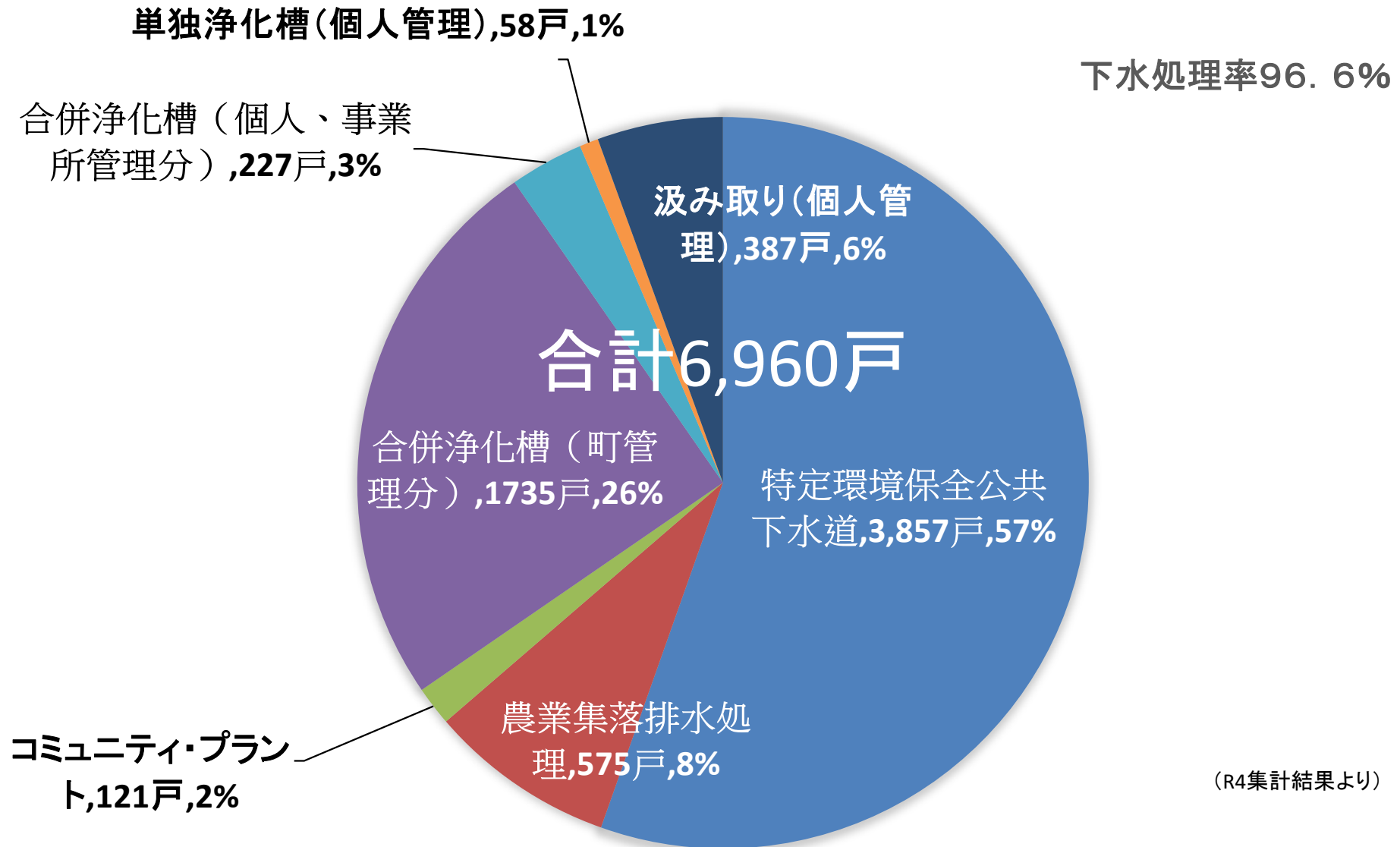
①特定環境保全公共下水道	8,993人
②農業集落排水処理	1,409人
③コミュニティ・プラント	313人

【個別方式】

④ 合併処理浄化槽（町管理分）	4,119人
// （ // 共同設置）内	9基
⑤ // （個人、事業所管理分）	338人

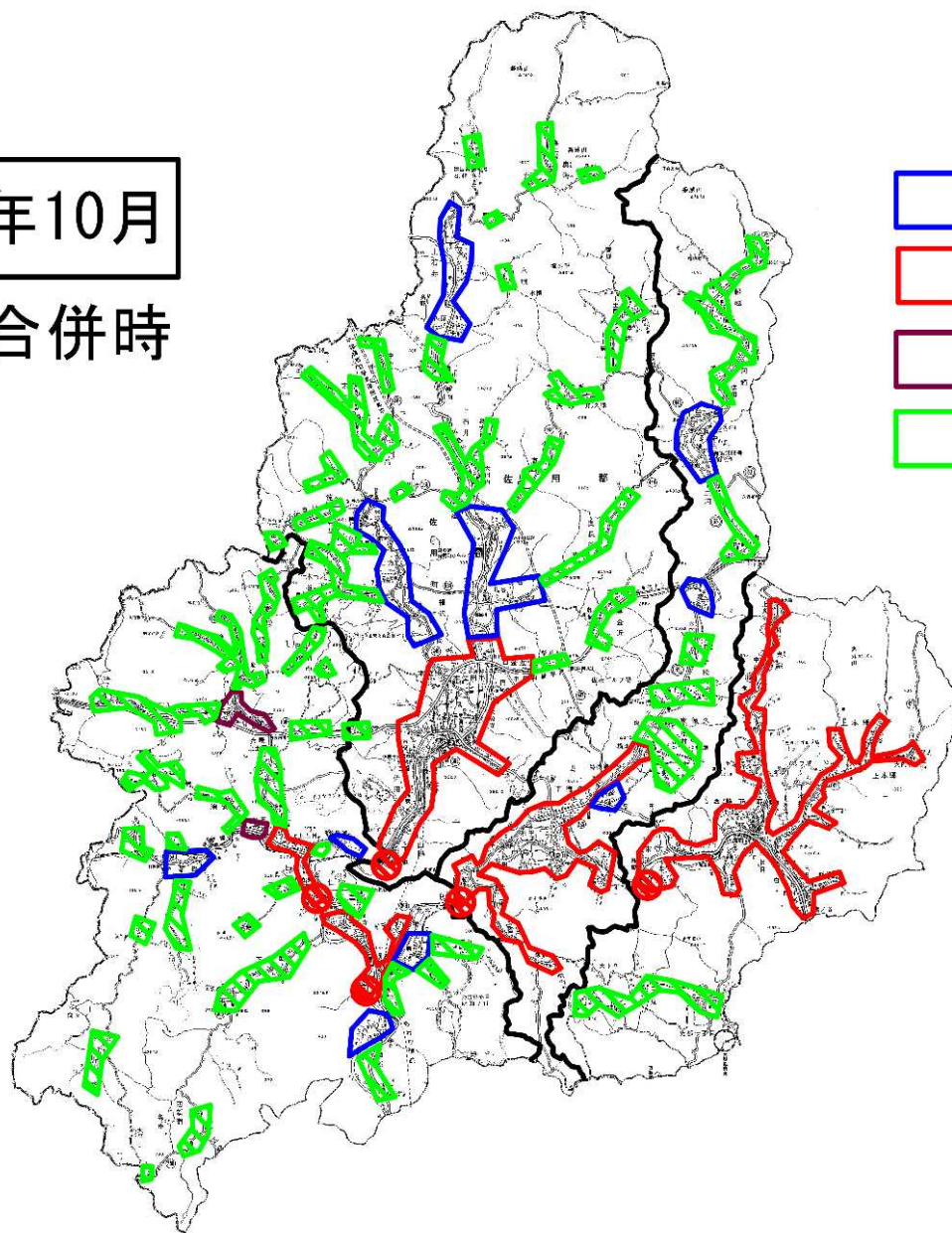
（R4集計結果より）





平成17年10月

佐用町合併時



-  農業集落排水
-  公共下水道
-  コミプラ
-  合併浄化槽



4の視点からの検討

- ① 建設コスト
- ② 適正な管理(水質の保全)
- ③ 人口減少に対応した維持管理
- ④ 住民への統一したサービス



下水処理の財政的支援制度(合併前)

旧町の場合の一例

単位：円

区 分		特環、農集	合併浄化槽
加 入 金	各戸	150,000	120,000

旧町の場合、公共下水(集合処理)、浄化槽を町で設置する
個人は加入金を支払う事で下水道の利用が出来る



○ 建設コストと維持管理費

処理区分/区分	R3における費用			
	接続人口 (人)	1戸当たり建設 費(万円/戸)	維持管理費用 (万円)	1戸当たり維持 管理費用(万円 /戸)
特定環境保全公共下水道	8,993	620	15,731	4.4
農業集落排水	1,409	620	3,809	6.8
コミュニティ・プラント	313	800	1,166	9.3
合併浄化槽	4,119	120	13,088	7.9



「公設浄化槽」までの流れ

- ① 個人による設置工事を実施
(町の補助制度を活用)
- ② 竣工後「浄化槽寄付申出書」を提出することで
「公設浄化槽」として取り扱う
- ③ 町による、法に定められた点検・清掃管理や
必要により修繕などの維持管理を実施



加入時の個人負担と補助制度

単位：円

区 分		特環、農集	合併浄化槽
加 入 金	各戸	225,000	なし
工事負担金	各戸	上限 200,000	補助金以外
使用料金	基本料金/月	3,086	2,057
	人頭割り/月	308	308

町の補助制度

浄化槽を設置 する場合の <u>町補助額</u>	5人槽		372,000
	6～7人槽		453,000
	8～10人槽		764,000



○ 適正な管理（水質の保全）

- ・法に定められた点検・清掃管理の実施
- ・法定検査（11条検査）の受検率向上
- ・維持管理による修繕の実施

○ 人口減少への対応

「休止届」により管理対象外として、町の負担軽減を図る

○ 住民への統一したサービス

居住地域（処理区域）が異なっても、一定の料金負担で同様のサービスが受けられる



これまで、30年に渡り、生活排水処理計画の立案から施設建設、維持運営を行って来た。

平成21年の災害からの復旧に取り組み、人口減少に対応する施設の統廃合によるコスト削減などを実践してきた経験から得た「合併処理浄化槽」の利点

- ① 安価なイニシャルコスト
- ② 工期が短く、使用開始が早い
- ③ 人口減少などの社会変化への対応性
- ④ 災害に強い
- ⑤ 自然環境に適した水質保全



新生「佐用町」が誕生し、17年が経過した今、人口は、約8割となり、20年後には半減するとの推計もあります。

中山間地域の町においては、「人口」という数値に過度にとらわれず、「くらしで幸せ」と感じられる「まちづくり」を進めるには、生活基盤である上下水道は重要な位置づけとなります。

そのためにも、今後、さらなるサービスの向上と経費削減による、持続性のある行政運営に努める必要があります。



— ご清聴ありがとうございました —

兵庫県 佐用町